

1

わたしたちのこの口は

わたしたちのこの口は
汚(けが)れているけど
どうか主がこれをきよめて 賛
美をさずけてください
偉大なあなたの御名が
天でも地でもあがめられ
主の栄光だけが光輝くように

※

あなたのその御名は
いつまでもたたえられましょ
私も主を慕いながら 心捧げてたたえます
偉大なあなたの御名が
天でも地でもあがめられ
主の栄光だけが光輝くように

求めて

あなたの声を求めて
あなたの顔求めて
あなたの心求めて 御前に入る

すべてを委ねて すべてを捧げて
あなたを求めて礼拝します

救い主イエス

その時御前に立つ 愛する聖徒と共に
ありのままのイエスの姿 驚き仰ぎ見る

礼拝します唯一の神 救い主イエス
あなただけが私の希望 永遠の命

5

祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り ピリピ4の4~7
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り 詩篇51
3. 個人的な願いの祈り ヨハネ15の7
4. とりなしの祈り 1テモテ2の1~4/エペソ4

- ①大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ②瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ③クリスチャンが成長し、整えられ、用いられますように
= 教員が恵まれて、礼拝・祈禱会・奉仕・献金・伝道ができますように
- ④求道者が与えられ、救われますように→受洗者
- ⑤教会近隣の方が集われますように
- ⑥若い献身者が与えられますように
- ⑦ジョイキッズとユースの働きが充実しますように
- ⑧高齢の方々の方フォローが十分になされますように
- ⑨Seto Life Art Studio が用いられますように
= ウクレレ・キッズ英語・ゴスペル・モンテッソーリ教室・音楽ミサなど
- ⑩50人→100人→200人と教会が成長しますように

5. 日本と世界とエルサレムの平和を願って...

- ウクライナとロシアのために。戦争が終わるように。
- 日本の今後・未来のため。教育・経済・国際情勢。

信仰宣言

- 「私の家族は全員救われます」
「日本にはリバイバルが始まっています」
「私も用いられます」
「すべての問題は解決します」
「することなすこと、みな成功します」
「私のまわりには奇跡が起こります」
「すべてのことを感謝します」
「イエス様と一緒にですから」
「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899
牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



祈りの小径(こみち)

Number: 164 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

民数記6章22～27節

22 主はまたモーセに言われた、

23「アロンとその子たちに言いなさい、『あなたがたはイスラエルの人々を祝福してこのように言わなければならない。

24「願わくは主があなたを祝福し、あなたを守られるように。

25 願わくは主がみ顔をもってあなたを照し、あなたを恵まれるように。

26 願わくは主がみ顔をあなたに向け、あなたに平安を賜わるように』。

27 こうして彼らがイスラエルの人々のために、わたしの名を唱えるならば、わたしは彼らを祝福するであろう」。



3

黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

クリスチャンの成熟に向けての必須科目

- (1)
- (2)
- (3)

信仰の「」

4

みことばの解説

奴隷であったエジプトから奇跡的に救い出され、荒野を旅することとなった200万人のイスラエル。

出エジプト記が、救い(新生)の物語とするなら、それは「母子手帳」のようなもの。レビ記は、成長に一番必要なもの＝「霊的食事・運動(実践)・睡眠(安息)」の手引書。つまり信仰生活の基礎になる「礼拝の手引書」です。では次の「民数記」は何でしょうか？それが「イスラエルの民の思春期の記録」です。神様を信じて新しい人生を踏み出した歓喜と栄光から、長い荒野のシーズンに入り、「約束の地」という「成熟」に向けて、霊的反抗期を含む、「信仰の思春期」を通ったのです。我々みんながその成長過程で同じ道を通ってきた(いる)ように...

私の尊敬する祈りの器のことばから引用します。

「民数記は、神の教育の業を描いています。奴隷のメンタリティから抜け出させ、神の子のまことの自由を持つ人を造るのは容易なことではありません。民数記は、荒野で行われたこの教育段階に当たり、イスラエルの思春期の記録です。」

ヘブル語の『教育』という語には『訓練』という意味合いがあります。運動のトレーニング(訓練)を思い浮かべてください。目標に向かって一気に行くのではなく、段階ごとのプログラムを組んで、繰り返し繰り返しマスターするまで忍耐強く、時には知恵を使い、ユーモアのセンスも駆使して教えます。訓練する側も、される側も、共に葛藤しながら…。しかし当座は喜ばしくない訓練も、やがて平安な義の実を結ばせることになるのを教育者は知っているのです(ヘブル書12章1-11節)。

時に厳しい取り扱いと思える教育かもしれません。しかし、根底にはどうにかして私たちに、「祝福された人生」を歩んでほしいと願う、神様の切なる祈りがあります。それが民数記6章の祝福です。